

生体の科学 第 62 巻 総目次

2011 年(第 1 号～第 6 号)

〔摂食制御の分子過程〕

特集に寄せて……………桜井 武	2(1)
レプチンの基礎から臨床応用まで	
……………日下部 徹・海老原 健・中尾 一和	4(1)
視床下部における AMP キナーゼの摂食・代謝調節作用……………箕越 靖彦	11(1)
摂食調節における Neuropeptide Y と AgRP の役割	
……………小木曾和磨・浅川 明弘・乾 明夫	17(1)
POMC/CART (視床下部) における FoxO1 と Sirt1 ……北村 忠弘・佐々木 努	26(1)
オレキシンー摂食行動と覚醒システムをリンクする物質……………原 淳子・桜井 武	31(1)
メラニン凝集ホルモン-MCH	
……………長崎 弘・齋藤祐見子	37(1)
最新のグレリン研究……………細田 洋司・寒川 賢治	44(1)
ニューロメジン U とニューロメジン S	
……………森 健二・寒川 賢治・児島 将康	51(1)
新規摂食抑制因子 nesfatin-1 の発現とその作用機序……………大井 晋介・森 昌朋	57(1)

〔筋ジストロフィーの分子病態から治療へ〕

特集に寄せてー骨格筋研究の見通し……………武田 伸一	78(2)
ゼブラフィッシュを用いた筋ジストロフィー研究手法	
……………川原 玄理・Louis M Kunkel	79(2)
α -ジストログリカノパチーと糖鎖……………遠藤 玉夫	83(2)
α -ジストログリカンの機能異常と筋ジストロフィー……………齊藤 史明・松村喜一郎	88(2)
福山型筋ジストロフィー症の成因	
……………金川 基・戸田 達史	91(2)
肢帯型筋ジストロフィーの発症機構	
……………反町 洋之・小野 弥子	95(2)
新たな肢帯型筋ジストロフィー……………林 由起子	100(2)
筋強直性ジストロフィーの成因……………石浦 章一	103(2)
先天性筋無力症の分子基盤	
……………手塚 徹・山梨 裕司	106(2)
横紋筋肉腫の分子病理	
……………細山 徹・Charles Keller	112(2)
筋疾患に対する遺伝子治療……………水上 浩明	117(2)
人工核酸による遺伝子制御……………関根 光雄	121(2)
低分子化合物を用いてエクソンスキップを誘導する Duchenne 型筋ジストロフィー治療	
……………西田 篤史・松尾 雅文	125(2)
デュシェンヌ型筋ジストロフィーに対するエクソンスキップ療法	
……………青木 吉嗣・武田 伸一	128(2)
筋ジストロフィーに対するリードスルー治療……………塩塚 政孝・松田 良一	134(2)
筋ジストロフィーと血管拡張制御……………安原 進吾	138(2)
遠位型ミオパチーの治療法開発	
……………野口 悟・西野 一三	142(2)
マイオスタチンの発現抑制による治療	
……………川上 恵実・田中 栄二・砂田 芳秀	
土田 邦博・野地 澄晴	146(2)
筋サテライト細胞の分子基盤	
……………渡部 秀一・朝倉 淳	151(2)
骨格筋内在性の間葉系前駆細胞	
……………上住 聡芳・深田宗一郎・土田 邦博	157(2)
多能性幹細胞による筋ジストロフィー治療……………櫻井 英俊	161(2)

〔インフラマソーム〕

インフラマソームの概念と ASC タンパク……………相良 淳二	174(3)
細菌感染による NLRP3 および NLRC4 を介したインフラマソーム活性化	
……………小泉由起子・比嘉 直美・鈴木 敏彦	182(3)
自然免疫系における DNA センサーとインフラマソーム……………高岡 晃教・鈴木絵里加	
浦山 優輔・木口 舞美	188(3)
AIM2(absent in melanoma 2) はインフラマソームの活性化に関与する……………土屋 晃介・光山 正雄	202(3)
ミクログリアの産生するカテプシン B の機能的多様性ープロ IL-1 β のプロセッシングと慢性疼痛への関与……………中西 博	208(3)
エンドトキシショック関連肝障害における TRIF-NLRP3 依存的なインフラマソーム形成の重要性	
……………内山 良介・今村美智子・筒井ひろ子	213(3)
インフラマソームの自発的活性化を病態とする自己炎症症候群	
……………神戸 直智・佐藤 貴史・西小森隆太	221(3)
インフラマソームの活性とシリカ粒子の性状……………吉岡 靖雄・中川 晋作・堤 康央	228(3)

インフラマソームの <i>NLRP3</i> 遺伝子多型とアレルギー疾患	玉利真由美・富田かおり・広田 朝光	233(3)
オートファジーとインフラマソーム	齊藤 達哉・審良 静男	237(3)
移植心の拒絶反応とインフラマソーム	伊藤 研一・瀬戸達一郎	245(3)
ショウジョウバエにおける炎症応答と組織再生	小幡 史明・倉永英里奈・三浦 正幸	249(3)

〔小脳研究の課題〕

特集「小脳研究の課題」に寄せて	伊藤 正男	266(4)
霊長類における小脳の進化	俣野 彰三	268(4)
小脳シナプス回路の発達とその分子機構	渡辺 雅彦	274(4)
分子画像法：蛍光プローブを用いた小脳の分子イメージング	中井 淳一	281(4)
下オリブ核、プルキンエ細胞、小脳核が作る閉回路の学習における機能	川人 光男	287(4)
多様なニューロンにより精緻化される小脳神経回路	廣野 守俊	292(4)
小脳と BMI	平田 豊	298(4)
サッケード適応における小脳の役割	角 友起・岩本 義輝	305(4)
道具の使用と小脳の認知モジュール	今水 寛	312(4)
小脳変性症	石川 欽也・水澤 英洋	320(4)

〔細胞核—構造と機能〕

1. 核膜		
核膜タンパク質	原口 徳子・小林 昇平	366(5)
核膜タンパク質エメリン	原口 徳子・岩本 政明	370(5)
分裂酵母核膜タンパク質	平岡 泰	372(5)
Nucleophagy	林 由起子	374(5)
2. 核膜孔複合体		
核膜孔複合体の形成機構	今本 尚子・三村 恭弘・船越 智子	378(5)
Np60(Nup50)と Nup98 による核-細胞質間輸送制御	小川 泰・米田 悦啓	380(5)
核膜孔複合体タンパク質 Nup62 と神経変性疾患	金子 鋭・日下 博文	384(5)
核膜孔複合体タンパク質 Gp210	中村 稔・相庭 佳洋	386(5)
Pom121 の構造と核膜孔形成における役割	船越 智子・今本 尚子	388(5)
Nup107/133complex が作る核膜孔複合体の基礎構造	三村 恭弘・今本 尚子	390(5)

核膜孔複合体タンパク質 Nup88	橋爪智恵子・Richard Wong	392(5)
Importin α の多様性と生理的機能	盛山 哲嗣・米田 悦啓	394(5)
インポーティン β 依存的輸送経路	吉村 成弘・竹安 邦夫	396(5)
3. 核骨格		
核マトリックスとゲノムダイナミクス	奥村 克純	400(5)
核マトリックスタンパク質	堀米 恒好・古川 和広・糸田 昌宏 平井 悠哉・竹安 邦夫	402(5)
A 型ラミン	林 由起子	404(5)
核膜の裏打ちタンパク質 Lamin-B1	佐藤 聡・金 恵淑・綿矢 有佑	406(5)
核内における細胞骨格関連タンパク質	糸田 昌宏・竹安 邦夫	408(5)
4. 核小体		
核小体の新機能	小林 武彦	412(5)
リボソーム RNA 遺伝子の安定性と細胞老化	小林 武彦	416(5)
Small subunit processome	牛田 千里・藤原 俊伸	418(5)
核小体タンパク質フィブリラリン	牛田 千里・藤原 俊伸	420(5)
ユビキチン化による核小体の構造と機能の制御	駒田 雅之	422(5)
核小体の単離・精製とその構造	Emilie Louvet・糸田 昌宏・竹安 邦夫	424(5)
5. 染色体		
ヘテロクロマチンとユークロマチン	広瀬 進	428(5)
スクレオソームとヒストン	田上 英明	432(5)
ヒストンリスト	藤田 道也	436(5)
ヒストン H1	平野 泰弘・平岡 泰	438(5)
ヒストン H2A のバリエーション	藤田 道也	440(5)
ヒストン H3	立和名博昭・胡桃坂仁志	442(5)
ヒストン H4 の化学修飾	伊藤 昭博	444(5)
SMC ATPase：コンデンシンとコヒーシンのコアサブユニット	木下 和久・平野 達也	446(5)
染色体分配における姉妹染色分体接着の役割	進 寛明・渡邊 嘉典	450(5)
セントロメアの構造	深川 竜郎	454(5)
セントロメア形成を決定するクロマチン集合バランス	舩本 寛	458(5)
染色体パッセンジャー	岡本茉佑美・藤井 幹子・達家 雅明	460(5)
オーロラ	岡本茉佑美・藤井 幹子・達家 雅明	464(5)
ヘテロクロマチンタンパク質 HP1	中山 潤一	466(5)
キネトコアと微管の結合を制御するタンパク質 CAMP	田中 耕三	468(5)

新しく見出された CENP-S/X 複合体	深川 竜郎	470(5)
構成的動原体蛋白質 CENP-50 の同定 と機能解析	筑嶋 幸範・北村 俊雄	472(5)
BRCA2 とヌクレオホスミン	三木 義男	474(5)
6. 核内受容体		
ビタミン D 受容体の活性化機構	横島 誠	478(5)
核内受容体を標的とするケミカルバイ オロジー	棚谷 綾・影近 弘之	480(5)
エストロゲン受容体 β を介した多彩 な転写制御機構	仲島 由佳・山口 智絵 石川 寛子・柳澤 純	482(5)
核内受容体を介した化学物質の生体応 答とその検出	斎藤 幸一	484(5)
核内受容体による学習記憶制御	喜田 聡	486(5)
7. 核内移行		
活性化 T リンパ核ファクター (NFAT) の核シャットリング	芝崎 太	490(5)
タンパク質の核内輸送の構造基盤	佐藤 衛	492(5)
タンパク質核内移行の可視化	菅野 憲・小澤 岳晶	494(5)
糖鎖修飾によるナノ粒子の核移行	新倉 謙一・居城 邦治・関口 翔太	496(5)
8. その他		
核内ゲノムダイナミクスの可視化	奥村 克純	500(5)
核内ノンコーディング RNA の役割	石塚 明・中川 真一	502(5)
テトラヒメナの二つの核	沼田 治	504(5)
細胞質分裂における収縮環形成機構	沼田 治	506(5)

〔コピー数変異〕

コピー数多型とその解析	石川 俊平・梅田 高呂	514(6)
次世代シーケンサーを用いた日本人 ゲノム解読による遺伝的多様性の包 括的解析	藤本 明洋・中川 英刀・角田 達彦	523(6)
進化とコピー数変異	竹崎 直子	529(6)
疾患とコピー数多型アレルとのケース -コントロール関連検定	大橋 順	535(6)
コピー数変化を使った早期胃癌の進展 リスク評価	杉原 洋行・仲山 貴永・向所 賢一	541(6)
小児内分泌疾患とゲノムコピー数異常	深見 真紀・緒方 勤	546(6)
発がん遺伝子 <i>MET</i> のコピー数多型と 予後	奥田 勝裕・佐々木秀文・藤井 義敬	552(6)

乳がんにおけるコピー数変異	齊藤 広子・三木 義男	556(6)
有棘赤血球舞踏病における <i>VPS13A</i> 遺伝子のコピー数変異	富安 昭之・中村 雅之・佐野 輝	560(6)
DNA コピー数異常に基づいたテント 上グリオーマのサブグループ分類	廣瀬 雄一	565(6)
特発性正常圧水頭症のリスク遺伝子の 探索— <i>SFMBT1</i> 遺伝子の segmen- tal copy number loss—	伊関 千書・和田 学・加藤 丈夫	570(6)

〔連載講座/老化を考える〕

5. 老化と癌化におけるテロメア長	田久保海誉・相田 順子・仲村 賢一 石川 直・新井 富生・下村七生貴	63(1)
6. 加齢による臓器障害	加賀美弥生・丸山 直記	257(3)
7. 老化による視床下部-下垂体-副腎 系の機能障害	溝口 和臣	329(4)
8. クロトーマウスにみる肺の加齢変 化と呼吸器疾患	石井 正紀・山口 泰弘・大内 尉義	574(6)

〔実験講座〕

セルソーターの脳科学領域への応用	太田和健之・俣賀 宣子	165(2)
------------------	-------------	--------

〔解 説〕

mRNA の核外輸送と細胞内局在化機 構	片平じゅん・米田 悦啓	69(1)
神経幹細胞の分化制御機構	野口 浩史・田中 友規・中島 欽一	335(4)
タンパク質の核移行阻害剤—ポリグル タミン病の分子標的治療—	辻 省次・伊達 英俊	581(6)
ヒト全エクソンシーケンスによる希少 疾患ゲノム解析	細道 一善・井ノ上逸朗	587(6)

〔研究のあゆみ〕

哺乳類視交叉上核のサーカディアンリ ズム発振—その検出と移植によるリ ズム再現—	川村 浩	345(4)
--	------	--------